

# デザイン型AI教育研究センターが取り組む異分野融合研究

## デザイン型AI教育研究センター・特任助教・鳥井浩平

### 1 さまざまな分野でAI技術の利活用を推進

昨今、話題となっているAI技術の実用化には、各分野のエキスパートが持つ専門知識の融合と共同研究が不可欠です。デザイン型AI教育研究センターは、さまざまな分野の先生方と連携しながら、AI技術を用いた課題解決について共同研究を行い、AI技術の利活用推進や実用化に尽力しています。特に、2023年からは、医歯薬学共創プラザを拠点に医歯薬学との連携を深め、X線写真や超音波動画などの医用画像に対するAIの研究開発に注力しています。

### 2 AI開発を支援する技術について研究

当センターはプログラミング等の専門的な知識やスキルを必要としないAI開発環境の開発・提供を行っています(図1)。また、AIの教師あり学習に必要なラベリング(アノテーション)作業の負担を軽減することを目的とした、教師なし学習ベースのAI技術の研究開発にも取り組んでいます。この技術は大量のデータを集めることが比較的困難なケース、特に医療の分野において、AI開発の一助となることが期待されます。

表1 各分野との連携状況

分野	共同研究件数
医学	5件(内2件は大学産業院と連携)
歯学	5件(内2件は外部企業)
化学	3件(内1件は研究クラスター)
生物学	1件
環境経済学	4件

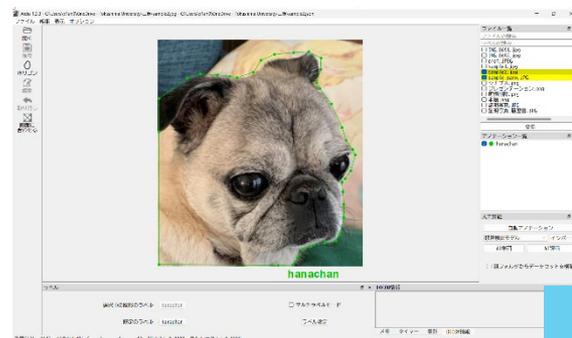


図1 AI開発支援ソフトウェア



分野: 人間情報学およびその関連分野 専門: ソフトコンピューティング関連  
E-mail: torii@tokushima-u.ac.jp Tel. 088-618-0050